

2022
MPC
award

セキュリティ
委員会特別賞

昭和大学横浜市北部病院

連携またはシステム構築

学校法人昭和大学

一般社団法人Well-being Live Data 協議会

自身の医療データを安全に管理・活用し健康増進

DATA

導入活用
目的 患者自身の医療データ活用

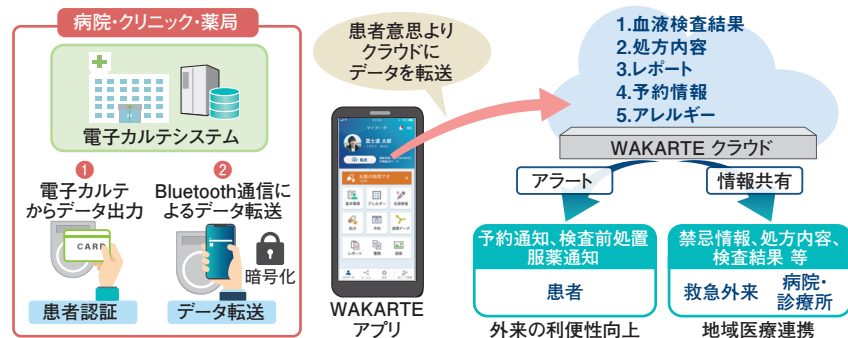
テクノロジー Bluetooth、クラウド

Profile

昭和大学横浜市北部病院
事業内容：総合医療機関

URL：https://www.showa-u.ac.jp/SUHY/
index.html

図 「WAKARTE」による安全安心な患者の医療情報活用



個人が複数の病院に通院すると、それぞれのカルテに情報がバラバラに保存される。個人の健康情報 PHR (Personal Health Record)を集約し、患者自身の意思で健康情報の一元管理や第三者への情報提供を行えば、データを有効活用したよりよい診療や健康増進につながる。

昭和大学横浜市北部病院では、インターネットがあればいつでもどこでも自分の医療情報を確認できる仕組みを模索し、医療情報統一管理システム「WAKARTE(ワカルテ)」の開発に至った。

電子カルテ情報は世界で採用されて

いる医療情報交換のための標準規格 FHIR 形式で、Bluetooth 通信を用いて専用スマホアプリへ転送する。

また、オフラインで多くの情報を、より高いセキュリティで連携できるシステムを目指し、QR codeの活用を考案中である。